学校評価報告

令和6年度における「学校評価」の実施内容を以下のとおり報告いたします。

令和6年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人亀井学園 江東めぐみ幼稚園

1 本園の教育目標

本園は、遊び、友達との関わり、専門講師による絵画・音楽・体操・英語指導等を通して、創造性が豊かで自主自立心が強く実践力があり、明るく健やかな幼児の育成を教育目標としています。

2 本年度重点的に取り組む目標・計画

本年度は、平常保育や年間行事を通して、幼児一人一人の成長につながる教育を実践するとともに、幼児の情操教育の一環として専門講師による造形・体操に重点的に取り組みます。

3 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	評価	取り組み状況
1 教育目標に基づき教育課程、指導計画を作成し、教職員間で共通理解幼児を深めながら指導します。また、専門講師による音楽指導を通して、創造性・自主自立心・実践力のある幼児を育てます。	4.0	教育目標に基づき、教育課程・指導計画を作成し、クラスの動きなど一覽し申し送りをする中で、共通理解のもと個々の幼児理解を深めるように努めました。また、とうきょうすくわくプログラムに参加し、好奇心・探究心を専門講師とともに活動を深めることができました。
2 地震・津波・火災・不審者等に対する教職員・幼児の安全対応能力向上のため、防災・防犯訓練を実施します。	4.0	毎月のマニュアルに沿って、いろいろな場面想定を変化させて避難訓練を実施し、迅速に行動することができました。また、スクリーン映像や紙芝居などを通し、訓練の大切さの理解に繋がりました。ピアノや本棚など、耐震防止の見直し・確認・設置を行いました。
3 園内・園外研修への参加や課題の解決、教職員同士の話し合いを通じて教職員の資質向上に努めます。	4.1	専任講師による研修や外部研修などでは、参考になる点も多く、iPad等を利用して全職員が共有し、理解に繋げるよう努めました。また、研修内容をレポートにまとめ、教員同士の話し合いを通じて振り返りをし、資質向上に努めました。
4 保護者との連携・協力により、年間行事や日々の保育を円滑に進行させ、教育内容の充実を図ります。	4.0	あらかじめの年間行事や毎月のお知らせにより、保護者の方の理解と協力のもと、円滑に実施することができました。新たに温室栽培による学びや、素材遊びによる遊びも充実できました。
5 特別支援児ごとに指導・支援計画を作成し、関係機関の協力を得ながら、特別支援教育内容の充実を図ります。	4.0	特別支援児ごとに、個人別計画・支援計画を作成し、保護者面談を行いながら関係機関の研修会に参加しました。また、教職員間の話し合いや、発達支援機関との連絡を共有することで、ひとりひとりの成長過程の充実に務めました。
6 保護者の実情や子育て世代の要望に沿った預かり保育並びに地域の子育て世代を支援する地域教育事業を実施します。	4.0	保護者の方の要望に応じ、時間の延長、バスによる送迎、夏休みのお盆時期の預かり、未就園児の読み聞かせやプレスクールを実施することができました。

評価（5：十分に達成 4：達成 3：おおむね達成 2：要努力 1：改善を要する）

4 総合的な評価結果

評価	理由
4.0	今年度は、とうきょうすくわくプログラムに参加し、広い園庭で毎日発見がある「自然」と身近な「音」をテーマとし、子どもの興味・関心に応じて多彩な体験・経験に触れ合うことのできる探究活動を楽しく行うことができました。 次年度も主体性や自己肯定感も育まれる教育・向上に取り組めます。

5 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
4 地震・津波による安全・対応能力の向上	津波による安全対応において、外部の東砂小学校屋上避難訓練の実施予定。
6 預かり保育の改善	満3歳児預かりの利用、預かり場所の変更、遠足後の預かり、卒園後預かりのバス送迎を実施し、保護者の方の要望に応じていきます。

6 学校関係者評価委員会の評価

次年度に向けてしっかりと課題をたて、すぐに実行されているように感じます。
今年度は専任講師による指導だけでなく、保育室に入って担任による指導を参観する事ができ、保護者からは喜びの声が多くありました。
また、年長児では外部の講師を招き、パン作り体験や豆皿制作が行われたり、園全体で「とうきょうすくわくプログラム」にも参加され、昨年度にはなかった経験が沢山できる様工夫されておりました。
次年度は、満3歳児クラスも増え、更に賑やかになることを期待しております。